

かみしほろの未来を

ESDGSで創る

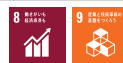


SDGs=Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)は、2015年の国連サミットで採択された、世界のみんなが共有する行動目標です。地球上の私たちみんなが、ずっと豊かで幸せな暮らしを続けていくための17個の目標です。SDGs目標に向かってみんなで取り組んでいくことが、上士幌町の豊かな未来を創ることにつながります。

SDGsで描く未来のかみしほろの姿

経済

仕事のあるまち



環境

豊かな自然があるまち



社会

住みやすいまち



かみしほろの第I期地方創生とSDGs

2015年度から2019年度までの第I期地方創生では以下の3点に注力し、人口のV字回復を実現しています。

1 子育て・教育・文化

安心して子どもを産んで、育てることができるまち

認定子ども園の設置、子育て支援カード、子どもの医療費無料化…
キャリア教育、コミュニティスクール…

SDGs…

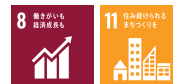


2 移住・定住・交流

新たな暮らしを、安心して始められるまち

生活体験の受け入れ、NPOと連携した移住総合案内…
賃貸住宅建設助成、新築・リフォーム助成…

SDGs…



3 医療・福祉・安心

誰もが健康で安心して暮らせるまち

健康ポイント事業、コミュニティで支える地域包括ケア…
町内無料循環バス、もしもの時の緊急通報サービス、除雪費助成…

SDGs…



MESSAGE

これまでも、そしてこれからも「持続可能なまちづくり」を目指して

たけなか みつぎ

竹中 貢 町長



上士幌町では、人口減少や少子高齢化に伴う課題に対し、これまで様々な施策を講じて参りました。2015～2019年度の第I期地方創生では、町民が健康で安心して暮らし、充実した子育てができるまちづくりを目指し取組を進めてきた結果、2018年には人口のV字回復の実現に至りました。こうしたまちづくりは、将来にわたり次の世代につなげていく「持続可能なまちづくり」であったと言えます。

2020～2024年度の第II期地方創生では大きく5つの柱を掲げ、社会・経済・環境の各面において様々な取組を現在進行形で進めています。人とまちが生きる仕組みづくり、地方の稼ぐ力の創出といった官民共働によるまちづくり、牛のふん尿を活用したバイオガス発電による資源循環型農業の構築や再生可能

エネルギーの普及促進、MaaSや自動運転バス、ドローンといった次世代高度技術の導入・実装など、これらが連携して融合することでスマートタウンが実現し、未来に向けて地方が息づいていくための重要な仕組みと考えています。

このようなまちづくりが評価をされ、2021年には「SDGs未来都市」、2022年には上士幌町内全域が「脱炭素先行地域」に選定され、先進的な取組は、国内に限らず海外からも視察や講演などの依頼があり非常に注目を浴びています。

本冊子では、上士幌町が取り組んでいる第II期地方創生の5つの柱を、近年注目が集まるSDGs(持続可能な開発目標)で掲げられる17の目標に関連づけてご紹介しています。上士幌町が進める「持続可能なまちづくり」のことを知っていただくきっかけになればと心より願っております。